

2025 第 1, 2, 3 RUTC 永遠の答えの始まり (14) (社)世界福音化伝道協会 www.weea.kr			
2025 年 4 月 5 日 週間祈りカード			
△産業宣教/金土日時代のやぐら 10 産業人重職者に与えられる神様のミッション(使 1:3)	△ART と TCK 伝道学/三つの庭のモデル 10 300%と三つの準備(使 1:8)	△核心 宣教大会準備(使 1:8)	
△金土日時代という単語を多く使う理由がある。ヨーロッパ、アメリカに麻薬をする人が多くなって、そして精神疾患者もたくさん生じるようになる。神学校と教団がとてたくさん増えている。それゆえ、大きな危機、わざわいが押し寄せ始める。青年たちが教会に来ず、世の中に出て行って麻薬にはまる。韓国でも教会が門を閉ざし始めた。 1. すべての産業人重職者のミッション 1) 40 日 神の国のこと、御座のやぐら、旅程、道しるべを説明した。行く中に神の国、神の国のことが成り立つと言われた。根本の力は御座の力だ。 2) 使 1:8 聖霊の満たしを約束された。すると力を受けて地の果てまで証人になると言われた。これが祈り 300%だ。私、現場、未来で満たされるのだ。 3) 使 1:14 産業人がこの力を受けて一つの心になって祈った。 2. 成就 このミッションがみことばで成就したのだ。 1) 使 2:1 「五旬節の日になって」三つの祭り。過越祭の契約を握った人に五旬節が臨み、この人々の背景は御座だ(仮庵祭)。 2) 使 2:9-11 15 か国の門が開いた。 3) 使 2:17-18 確実な未来を教えられ、成就した。 3. 答え 1) 使 2:41 3 千弟子が起きた。今、地の果てまで 5 千種族。 2) 使 2:42 ここで四つの流れを見なければならない。みことばの流れ、伝道の流れ、信徒の間でフォーラムはどの程度来ているのか、そして、祈りの答えの流れだけ確認すれば良い。 3) 使 2:46-47 いよいよ産業に、家に。 □結論 1. すべての牧師は伝道だけする地教会 12 か所を見つけなさい。現場に伝道する 24 時弟子を立てなさい。エジプトから羊の血を塗った日に出てきた。12 部族が 12 地域を偵察した後、24 入ったとき、カナンの地に入った。24 の基準は聖霊が完全に導かれるのが見えることだ。 2. すべての重職者は一生働きをする一つの地域を選択しなさい。働きが起きて 70 地域までつながれば良い。 3. RT -未来 300%準備しなさい。 教会と地域を生かすために三つのことを確実にしなさい。 1 キャンプ聖霊の導き 受けるように祈りなさい。人、こと、場所が見えるように 2 キャンプ聖霊の働き ネフィリムと暗闇が崩れる 3 キャンプ聖霊の実 再生産と働きが起こるしかないシステムを備えることだ。	△金土日時代にレムナントとフォーラムしなさい。レムナントの一番の心配は勉強だ。もしソウル大を卒業して、財閥の会社に就職して、良い配偶者に会って結婚して、賢い子どもを育てるのも良いだろう。ところが、それでは世界福音化できない。レムナントは初めから考えを正しくしなさい。300%を準備しなければならない。 □序論 1. 福音回復 300% 300%とは何なのか。私に対する答え、現場に対する答え、未来に対する答えから得ることだ。 2. 祈り回復 300% どのように 300%するのか。御座のやぐら 7、旅程、道しるべを祈っていれば良い。 3. 未来 300%準備しなさい。 1) ただのタラント出てくる。 2) 唯一性 ほかの人が訪ねてくる 3) 再創造 世界を生かす。	□本論_このように(序論)すべき 1. 237 と合う。 1) マタ 28:16-20 「あらゆる国の人々を弟子としなさい」 2) マコ 16:15-20 「わたしの名で悪霊を追い出し、病んでいる者に手を置けば癒やされる。万民に行きなさい。御座とともにいる」 3) 使 1:8 地の果てまで証人になる 2. 5000 種族と合う。これを合わせられないから 1) 奴隸 2) 捕虜 3) 属国 4) 流浪の民となる。 3. 主役になる。 1) TCK 2) ムスリム、共産圏にいる CCK 3) 5 千種族の中に崩れた NCK 生かす主役 □結論 1. 神様の目標と 2. 方向が合わなければならない。 3. 結論レムナント 7 人の特徴、結論を知っていた。	※聖霊の満たし 朝 力を得る祈り-ゆっくり呼吸して動いてすべてを 7・7・7 祈りに変える。 昼 確認する祈り-下腹に基準 夜 答えを受ける祈り-静かに、深く □序論 1. 宣教の理由 1) 12 の戦略で倒したサタン 2) マタ 12:26-30 人間の中に家を作っている。 3) II コリ 10:4-5 やぐらを建てている。 4) II コリ 4:4-5 世の神 5) ヨハ 16:11-14 世の支配者 キリストの御名の前にみな崩れる。「わたしの名によって祈りなさい。わたしの名によって悪霊を追い出しなさい」 2. 宣教現場 1) 福音 x 2) 牧師-福音が分からない。 3) 神学 x-このような牧師もいる。 3. 証人-イエス様が教えられたこと 1) 祈り 300%(聖霊の満たし) -朝、昼、夜で 7 やぐら、旅程、道しるべ祈りを継続すれば世界福音化が起きる。私は世界福音化のほかは答えではないと考える。世界福音化するほどの力を回復しなければならない。 2) 職業 300%(証拠) -タラント、専門性、未来性 3) 伝道、宣教 300%(証人) -聖霊の導き(最高の祝福)、聖霊の働き、聖霊の実 △レムナントの学業が 237 を生かすくらいになれば良い。 □本論_なぜか 1. 初めから与えられた契約 1) 創 12:1-3 わたしがあなたに示す地に行きなさい。祝福の根源 2) 創 22:1-23 あなたの子孫によって世界中の国々が祝福を受ける。 3) 創 37:1-11 ヨセフを通して成就 2. わざわい-悟れないからわざわい、このとき、契約を持っている人とレムナントを呼ばれた。これが宣教 1) エジプト(出 3:18) -血のいけにえをさげた日に出て来るようになる。 2) ペリシテ(I サム 16:1-13) -ダビデを通してペリシテに勝った。 3) アラム(II 列 6:8-23) -契約を持っているレムナントとオバデヤを通して勝つようになる。 4) 捕虜(イザ 7:14) -契約を握ったダニエル、三人の青年、エステルを通して働き 5) 属国-わざわいが臨むたびに神様は福音を伝えられ、この福音が全世界に広がった。 6) 流浪の民として散らされる。 3. 最後に与えられた契約-世界のわざわいを止める時間が宣教の時間 1) マタ 28:16-20 とともに、あらゆる国の人々に行きなさい。 2) マコ 16:15-20 万民に行きなさい。御座に着かれた主が働き 3) 使 1:8 地の果てまで行きなさい。 これを置いて宣教大会のために祈るのだ。すべての重職者は 24 する一つの国を決めなさい。
△散らされた弟子たち/7・7・7 のモデル 10 散らされた弟子たち(使 19:21)			
三つのことをすれば良い		3. 常に結末を正しく見なければならない。	
1. このように始めれば良い。		1) 使 13:1-4	
2) 使 16:6-10		2) 使 16:15 リディア 1 人がピリピを生かすようになった	
3) 使 19:1-7		3) 使 19:21 ローマも見なければならない。この契約が成就した。	
完全に聖霊が導かれるとおりに行くのだ。			
2. 過程 常に味わうべき。			
1) 使 17:5-11 完全な癒やし			
2) 使 16:16-18 ネフィリム文化砕く			
3) 使 19:8-20 ネフィリム病気砕く			

△区域メッセージ第 14 週/マルコの屋上の部屋へ － 最も大きな伝道、宣教は神殿運動－幕屋(出 26:1)	△聖日 1 部 永遠の契約(出 37:1-9)	△聖日 2 部 主の栄光が満ちている幕屋(出 40:34-38)
宣教-神殿運動、荒野-幕屋運動、捕虜-神殿再建、 属国-ローマ福音化、流浪の民-世界福音化 △私たちが力を尽くして神殿を準備したことは、事実は最高の宣教だ。私たちが荒野へ行くとき、一番難しいとき、神様は幕屋運動を行えと言われ、捕虜だったときは神殿を再建しなさいと言われた。ローマに属国になっているときは、神様はローマ福音化を準備させられ、イスラエルに福音を持っている人々が全世界に散らされて流浪の民になったとき、神様は世界福音化をされたのだ。 □序論_どのようにすれば良いのか 1. 至聖所-御座-神殿の中には至聖所があって、そこに御座の力がある 2. 聖所-カ-聖所に、この力を得ることができる内容がある。 3. 金土日-癒やし時代、サミット時代、みな作ることができる。これが教会で、神殿だ。 4. 3つの庭-異邦人の庭、子どもたちの庭、ともしびが消えない祈りの庭である癒やしの庭だ。 5. 黙想時代-これが神殿で開かれるのだ。 ※血のいけにえ、契約の箱、12 部族-エポデ-血のいけにえをささげるとき、解放されて出た。十字架で流された血によってだけ解決することができる。本当に苦しみがいれば、別の悟りが与えられる。また、幕屋の中には契約の箱がある。祭司が 12 部族の名前を刻んだエポデを着ている。 □本論 1. 洗盤-きよめ-入るのに手を洗う洗盤がある。キリストは私たちをきよめてくださる 2. 聖所-祈り-聖所は民が祈る所だ。 3. 香をささげる祭壇-いのち-キリストの香はその御名で祈るとき、不信仰、わざわい、暗闇を崩す、すばらしい祭壇だ。 4. ともしび 24-キリストの光- 24 ともしびをつけなさい。24 キリストの光が必要だ。 5. パンの机-いのちのパン-キリストといういのちのパンだ。私たちになくてはならないことだ。 6. 至聖所-御座-キリストが聖所と至聖所の間の門をみな開かれた、こは御座の力があるという意味があったのだ。 7. 契約の箱-契約の箱が行く所に多くの働きが起こった。それを持って次世代が行ったがヨルダン分かれ、この契約の箱を担いで回ったらエリコも崩れた。 □結論_祈りの門-絶対計画 すべての信徒、民が祈る門を幕屋に向かって置いた。ダニエルは一日に三回ずつ神殿に向けて祈った。それゆえ、荒野を行く道、現実には難しい。ところで詳しく見れば事実、真実、霊的事実は違う。荒野にだまされてはならない。そこに神様の絶対計画が見えるのだ。	□序論_荒野の道はカナン征服と世界福音化のためにすべてを準備させること 1. 荒野 1) 危険で大変なところ-自然の危機、敵の侵入 2) 暗闇に覆われている所、サタンのやぐら(落とし穴、枠、罟)が建っている所。 3) イスラエルの不信仰-環境、自分自身の弱さ、人のために葛藤 2. 契約の箱について行きなさい-みことば(証拠)について行きなさい。礼拝のとき、みことばを刻印させなさい。 △この契約をのがせば、荒野で不信仰して死ぬ者の声を聞くようになる。悪魔は礼拝を奪っていく。 3. 契約は私たちの考えと違うことが多い。だまされずに、ただの証拠を持って行かなければならない。 1) アダムの子孫のとき、蛇の頭を打つ女の孫、カインの犯罪のときに下さった白い石 2) 世界福音化の契約を握ったが苦しみだけ来たがだまされなかったヨセフ、モーセ、ダビデ 3) まことの成功は世界福音化だ。ただの証拠を持って行きなさい。 □本論_握るべき証拠 1. 永遠なことを心にとどめなさい 1) 契約の箱-この証拠を心にとどめなさい(1 節) (1) 石に刻まれた永遠に変わらないみことば (2) アロンの芽が出た杖-礼拝、みことばを通して、いのちの芽が出ることを記憶しなさい。 (3) マナを入れた壺-死を目の前にしたとき、マナが降ったこと 2) 今流れている契約のみことばを刻印、根、体質化させなさい。 3) 次世代に伝達しなさい-この幕屋と契約の箱を持って行きなさい(2, 3, 5 節) △レムナントが日曜だけきて礼拝を正しくささげてしまえば終わりだ。 2. 福音、伝道、宣教中心に契約について行きなさい 1) 福音中心-宥めの蓋(6 節) 2) 伝道中心-純金で縁、金の輪四か所、両面に担ぐことができる輪(2, 3, 5 節) 3) 宣教中心 3. 必ず味わうこと-この契約の内容、神殿の内容 1) 至聖所(御座、契約の箱、ケルビム)-神の国を成し遂げるその力を味わいなさい 2) 聖所-洗盤(きよめ)、香の祭壇(キリストの香り)、ともしび(キリストの光)、パンの机(いのちのパン)、祭壇(すべての問題を解決してわざわいを防ぐ血のいけにえ) 3) 神殿の外-癒やしの庭(祈りの庭)、異邦人の庭(世界の暗闇を止める)、子どもたちの庭(霊的力を養わせなさい) □結論 1. 神様が消された契約の箱、聖書の原本、神殿-契約回復、生きているみことば回復、まことの教会を回復しなさい。 2. この祝福が次世代と多民族と 5 千種族の次世代に伝えられる。 3. 皆さんが受ける三つの祝福-あらかじめ、産業と生活の中に、世々にわたって隠されていて、とこしえまであることを今現わされる。	多民族が来たとき、キリストをどのように知らせれば良いのか。レムナントが外に行くとき、苦しみにあうとき、病気になったとき助ける者はいない。何を回復しなければならぬのか。 主の栄光が満ちている幕屋-「主の栄光が満ちた」より大きな答えはない。この力を受けなければならない。満たされる段階に行くように助けなければならない。 □序論_主の栄光が満ちている幕屋の理由 1. だれも教えなかった問題-答えを見つけたこと 1) わざわい 2) 暗闇(サタン) 3) 地獄の背景 2. だれも説明できない光が臨んだこと 1) 解放-わざわい、暗闇、地獄の背景から 2) 身分-神の子どもの身分 3) 権威-暗闇に勝つ権威まで与えられた。 3. 主の栄光が満たされる理由を次世代に証し 1) 創 41:1-38 ヨセフを通して主の栄光が全地に現れた。 2) 出 5:1-12:46 12 奇跡を起こしてエジプトのすべての暗闇を砕いた。 3) 1 サム 7:1-15 次世代を立ててミツバ運動 4) 雅 4:1-5 全地域に祈りの 1 千のやぐら、全世界を生かす神殿準備 5) ダニエル、三人の青年、エステルを通して主の栄光が全地に(イザ 60:1) 6) 使 1:1, 3, 8 キリストが直接説明 7) 使 17:1, 18:4, 19:8 これをパウロが再び次世代に伝えた △どんなものも福音より良いことはない。それでこそ生きる。 □本論_主の栄光の内容 1. 幕屋を通して主の栄光が臨む根本教会を先に回復 1) 救われた私-W10 とともにおられることが教会 2) この契約を握って集まれば、会見の天幕になる 3) 御座の背景が教会、天国も教会 2. 公礼拝 1) 御座と契約を味わうようになる至聖所がある教会、主の契約がそのまま成し遂げられる聖所がある教会 2) 三つの庭がある教会 3) 金土日がある教会 3. 荒野に移動する生きた礼拝 1) 主の栄光が満ちる(34 節) 2) 主の雲が幕屋の上にあるとき進みなさい(36 節) 3) 昼-雲の柱、夜-火の柱(38 節) □結論_主の栄光を<u>伝達</u>することが重要 1. 礼拝回復-礼拝できなければ死んだこと。悪魔の目的は礼拝を奪っていくこと 2. 答え回復-答えが見えて、回復するように祈りなさい。至聖所、聖所、三つの庭、金土日時代、黙想時代を回復しなければならない。 3. 流れ回復-今日のみことば握って祈って刻印させなさい。一週間、根をおろす。ある日、答えとして来る。それが体質だ。みことば成就、伝道成就、宣教成就して暗闇を止めることが働きだ。